

# 市町村広報誌特集記事に見る東日本大震災 H25.1.1-12.31

本稿は、福島県内の市町村から刊行されている広報誌のうち、平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」に関する特集記事を採録したものである。

なお、H23.3.11-12.31分は『当郷土資料情報 No.52』、H24.1.1-12.31分は『当郷土資料情報 No.53』に収録されている。

## 凡例

- ・東日本大震災に関する市町村広報誌の特集記事又は特集に準じると採録者が判断した記事を採録している。
- ・平成25年1月1日～12月31日までに発行された広報誌から採録している。
- ・記事は掲載号、ページ、記事名、特集項目名を掲載している。
- ・記事名、特集項目名は記事標題による。
- ・主に「行政機関による事業のおしらせ」や「行政機関による措置のおしらせ」を取り扱う記事は採録していない。
- ・概ね1ページに満たない特集記事は採録していない。
- ・広報誌を補完するために発行される、いわゆる「お知らせ版」については採録していない。
- ・紙面上の都合により、本誌では「相双・いわき」地域の広報誌のみ集録している。

## 相双・いわき地域

### ● 相馬市

掲載号	ページ	記事名	特集項目名
1月	2-3	2013年 年頭のご挨拶	相馬市長 立谷秀清、 相馬市議会議長 佐藤満
3月	4-5	新しい相馬へのつち音 復興に向けた主な整備事業	
4月	2-5	平成25年度のまちづくり—重点政策の中から新規事業を中心に—	
5月	2-4	これまでの除染実施状況	
7月	4-5	市内空間放射線量率500mメッシュ調査	
8月	2-5	平成24年度 相馬市でのホールボディカウンターによる被ばく検診結果	
11月	2-5	復興と市民団結のシンボル 新しい市民会館の落成式	相馬市民会館施設概要とご利用案内

### ● 南相馬市

掲載号	ページ	記事名	特集項目名
1月	2-3	市民の皆様へ	復旧事業を強力に推進し、地域の活性化を生み出す 南相馬市長 桜井勝延、 一日も早い復興に向けて 南相馬市議会議長 平田武
	5	警戒区域と帰還困難区域の通過	
	6-7	復興レポート	南相馬ソーラー・アグリパーク建設着工！、 安全に管理されます 除染廃棄物と災害廃棄物、 被災車両の撤去・処分手続き開始
	10	小高区の現状レポート	試験搬入が始まりました、 新年への準備整う、 冬の使者 ハクチョウ飛来、 小高区民 避難の状況
2月	4	復興レポート	南相馬市民屋内プール 再開しました！
3月	4-5	復興レポート	平成25年産稲の作付けを見合わせます～稲の作付け再開に向けて～
	6-7	小高区の現状レポート	復興に向けて説明会を開催
	8	南相馬市地域防災計画見直し方針	人命”最優先”の計画に
4月	2-3	祈りに包まれ復興を誓う	南相馬市東日本大震災追悼式
	4-5	復興レポート	がんばっています！地元農産物
5月	2-3	復興レポート	25年度農地除染始動
	14	小高区の現状レポート	がれき撤去・室内清掃をサポート

6月	4-5	復興レポート がれきの山が消える	塚原地区には1万6,400㎡のがれきを集積、80人体制で処理 夏には一掃、がれきの減容化が今後の課題
7月	4-5	復興レポート	旧警戒区域等の生活ごみクリーン原町センター搬入開始
	8	小高区の現状レポート	笑顔があふれるCafe'いっぷくや、季節の花が皆さんを出迎え
8月	4-6	復興レポート	災害公営住宅の整備計画、避難指示解除準備区域・居住制限区域 お盆の特例宿泊
9月	4-7	復興レポート	帰還促進のための仮設住宅入居受付を開始、災害公営住宅入居仮申込みを受付中、環境未来都市 再生可能エネルギー基地の整備、再生可能エネルギー基地の動き 風力・太陽光の安全・安心なまち、特定環境影響評価書の縦覧について
	8-9	「より确实」に「より迅速」に皆さんのもとへ防災情報や発信手段を拡充しました	
	10	小高区の現状レポート	小高区駅前通りを彩る
10月	2-3	復興レポート	小高区の除染が開始、除染方法と仮置場管理
	4-7	国と東京電力による市民説明会	賠償・補償、除染、避難指示解除、その他の質問、健康管理
11月	8-9	復興レポート 除染の現状報告	片倉・押釜・高倉・檜原地区の除染前後の対比、これまでの除染で見えたこと、今後の除染の動き
12月	2-5	復興レポート	今後の除染の動き、南相馬市復興計画 前期実施計画の進捗

### ● 広野町

掲載号	ページ	記事名	特集項目名
1月	2-3	広野町での生活を取り戻す年にするために	広野町町長 山田基星
3月	2-5	ふるさとの復興に向けて	
4月	6-9	町長施策方針	
	12-13	一般住宅除染の検証 安全・安心な町を目指して	
7月	4-5	第2回広野町議会定例会 復旧から復興へ	
8月	2-3	災害公営住宅の建設が着手 住まいの復興に大きな一歩	
11月	4-5	3年ぶりの収穫、出荷へ	安全安心への対策について、農地除染について、全国からの声
12月	4	駅東側開発 確実に前へ	

### ● 檜葉町

掲載号	ページ	記事名	特集項目名
1月	2-3	年頭のごあいさつ	町長 松本幸英、檜葉町町議会議員 山内左内、檜葉町教育長 高橋尚子
	4	経済同友会にて復興について講演	
	5	会津美里町の避難者支援事業QUOカード贈呈式	

2月	5	安倍首相へ要望書提出	
	6	石原環境大臣と共に除染現場を確認	
3月	3	新生ならはに向けた要望活動	
4月	5	平成24年度東日本大震災犠牲者追悼式	
5月	3-4	保管庫の現地調査について	
6月	1-2	檜葉町復興計画(第二次)を策定	1 目標と基本理念、 2 時期区分
7月	1-2	中間貯蔵施設(保管庫)の現地調査計画について説明会が開催されました	
	3-4	帰還困難区域の特別通過交通について	
8月	1	保管庫の現地調査着手について	
	5-6	復興へ向けた要望活動	
9月	5	常磐線広野一竜田駅間再開	
10月	9	若者たちと町長の懇談会～檜葉の復興を目指して～	
	10	福島原子力発電所所在町協議会長に町長が就任しました	
11月	3	除染の現状と今後の対応について	1. 除染の現状、 2. 今後の対応
	2	中間貯蔵施設(保管庫)の調査状況について(速報)	1. 現地調査・ボーリング調査等について、 2. 環境調査について、 3. 中間貯蔵施設安全対策検討会、 4. 中間貯蔵施設環境保全対策検討会、 検討結果取りまとめ概要

## ● 富岡町

掲載号	ページ	記事名	特集項目名
1月	2-3	新年のごあいさつ	富岡町長 遠藤勝也、 富岡町議会議員 宮本皓一
	4	富岡町行政区長会開催 警戒区域見直し案を報告	
	8-13	TOMIOKA桜通信 第9号	
2月	8-13	TOMIOKA桜通信 第10号	
3月	2-9	二度目の3. 11	富岡町の現状と課題、 故郷を取り戻すために 富岡町長遠藤勝也、 震災後の主な出来事、 富岡町の「現在」と「未来」を思う4人の方を紹介します。 避難生活が続く中、前を見つめ歩き続ける皆さんの声をお届けします
	12-17	TOMIOKA桜通信 第11号	
4月	2-5	3月25日午前0時避難指示区域見直しが実施されました	無用な被ばくを防ぐため一人ひとりが線量管理を、 私たちが、富岡町を守ります。 富岡町警戒区域再編に伴う帰還困難区域図
	10-11	富岡町東日本大震災追悼式・咲くら希望の集い	
	20-25	TOMIOKA桜通信 第12号	
5月	10-15	TOMIOKA桜通信 第13号	
6月	12-17	TOMIOKA桜通信 第14号	
7月	2	国へ復興に関する要望書を提出する	
	8-11	TOMIOKA桜通信 第3号	
8月	2-3	賠償、除染と並ぶ重要課題 生活再建へ急がれる災害公営住宅整備	災害公営住宅の設置状況
	8-13	TOMIOKA桜通信 第16号	
9月	8-13	TOMIOKA桜通信 第17号	

10月	10-15	TOMIOKA桜通信 第18号	
11月	2-7	富岡町住民意向調査・富岡町子どもアンケート結果速報	
	18-23	TOMIOKA桜通信 第19号	
12月	2	避難生活の支援や町の将来のために、富岡町復興まちづくり計画を策定	富岡町復興まちづくり計画とは、計画策定の経過、町民の意見を集約・反映、復興公営住宅(災害公営住宅)の状況
	10-15	TOMIOKA桜通信 第20号	

### ● 川内村

掲載号	ページ	記事名	特集項目名
1月	2	平成二十五年 新年のご挨拶	川内村長 遠藤雄幸
2月	2-3	安部晋三内閣総理大臣が川内村を訪問される！感動と元気をいただく！	
3月	2-3	帰村宣言から一年	川内村長 遠藤雄幸

### ● 大熊町

掲載号	ページ	記事名	特集項目名
1月	2-3	新年のご挨拶	新たな「ふるさと大熊町」を目指して 大熊町長 渡辺利綱、 「落ち着いて生活できる環境整備を」大熊町議会議員 千葉幸生
	4-5	大熊町の区域が再編されました	
2月	3-5	中間貯蔵施設の事前説明会を開催しました	貯蔵するものはなんですか？、 どのような施設ですか？、 調査の候補地はどこですか？、 調査の内容は何ですか？、 どのような安全対策をとるのですか？、 事前調査に関するQ&A
3月	2-5	平成24年度総合健診「こころの健康に関するアンケート」ご協力ありがとうございました	
4月	2-3	わが町『おおくま』の今	
	4-5	住民意向調査「避難期間中の住まいの確保について」の調査結果が公表されました。	
	6-7	大川原・中屋敷地区への立ち入りルートにご注意ください	
5月	10-13	おおくまふれあい通信	
6月	2	中間貯蔵施設の事前調査が行われています	
	6-9	おおくまふれあい通信 第2号	
7月	4-8	おおくまふれあい通信 第3号	
8月	2-3	大川原地区での先行除染結果について	
	4-5	長期避難者の生活拠点の検討に係る個別協議会(第2回いわき市部会)の開催について	
	10-14	おおくまふれあい通信 第4号	
9月	2-3	長期避難者等の生活拠点の検討に係る個別協議会が開催されました	第1回郡山市部会、 第1回会津若松市部会
	7-11	おおくまふれあい通信 第5号	
10月	5-9	おおくまふれあい通信 第6号	
11月	2	町民の皆様へ	町民の皆様へ 大熊町 渡辺利綱
	14-18	おおくまふれあい通信 第7号	
12月	6-10	おおくまふれあい通信 第8号	

● 双葉町

掲載号	ページ	記事名	特集項目名
1月	2	計画から行動へ	双葉町長 井戸川克隆
	3	絆—きずな—	双葉町議会議長 佐々木清一
3月	3	冥福を祈り 復興を誓う —東日本大震災双葉町追想式—	
	5	東日本大震災から二年目を迎えて	双葉中学校三年 平岩佳那子
5月	28-31	ふるさと絆通信FUTABA 第1号	
6月	3-5	双葉町復興まちづくり計画(第一次)案の報告について	双葉町復興まちづくり計画(第一次)の概要、策定の趣旨、基本理念、基本的な考え方、復興の進め方、復興・再興に向けた道のり
	17-23	ふるさと絆通信FUTABA 第2号	
7月	2-3	復旧・復興の拠点として	
	14-19	ふるさと絆通信FUTABA 第3号	
8月	8-9	原子力損害賠償紛争審査会現地調査・審査会	
	17-23	ふるさと絆通信FUTABA 第4号	
9月	2	大震災から2年6カ月を迎えて —皆様の生活再建を目指して—	
	22-27	ふるさと絆通信FUTABA 第5号	
10月	18-23	ふるさと絆通信FUTABA 第6号	
11月	2	皇太子ご夫妻喜久田仮設住宅をご訪問	
	24-29	ふるさと絆通信FUTABA 第7号	
12月	6-7	双葉町復興推進委員会がはじまりました	第一回双葉町復興推進委員会を開催しました、第一回双葉町津波被災地域復興小委員会を開催しました
	22-27	ふるさと絆通信FUTABA 第8号	

● 浪江町

掲載号	ページ	記事名	特集項目名
1月	2-3	新年のあいさつ	日々新たにして、また日新たなり 浪江町長 馬場有、新年を迎えて 浪江町議会議長 吉田数博
	16-23	浪江のこころ通信 第19号	千年に一度の体験だからこそ、心温まる話は後世まで伝えておきたい、浪江町中央公民館の高齢者学級の皆さんに届けたいメッセージ、『人との絆』の大切さが身にしみた震災、浪江町、福島県のつながりを大事にしたい、「ここまで頑張ってきたんだから」、被災者なりの意思を持って、子どもたちの未来のためにできることを、生かされているということを実感しています、「鮮度に自信、味にまごころ」寿し松开業
2月	21-27	浪江のこころ通信 第20号	今でも心は晴れません、浪江町民の絆をつなげ広げたい、我が家のいいところは、決断と行動力です、不安も感謝の気持ちも、喜びもごちゃ混ぜの日々でした、「ありがとう高島」みんなで集まれる場所がある、強いつながりで、まずは1勝！

3月	2-3	震災から2年	浪江町長 馬場有
	17-23	浪江のころ通信 第21号	仲間と一緒に飲みながらまた浪江の未来やユメを語りたい、諦めきれない思いを胸に抱いて・・・、一緒にふくしま駅伝を走りませんか、根は茨城で、心は福島で、私の心に咲いた希望という一輪のひまわり、長年住み慣れた自分の家がある浪江町に早く帰りたい
4月	2	東日本大震災追悼式	
	3	なみえ3.11復興のつどい	
4月	26-31	浪江のころ通信 第22号	富沢酒店頑張っています、「浪江のキャニオンワークスは、今日も元気に頑張っています」そのことを浪江の皆さんに伝えたい、避難生活の思いを後世に伝えたい、私は人を元気にすることが大好き！、もっと笑いあいたい
	2	町民の皆様へ	浪江町長 馬場有
5月	17-23	浪江のころ通信 第23号	「待っているのではなく、自分たちのこれからは自分で決めることが大切だと思う」—1人ひとりの生活再建に求められることとして—、町のみなさんの「かけはし」に、「青春の今を生きています」—両親の思いも感じながら、明日に向かって進んでいます—、未来を信じて前に進みたい、あの日の記憶と共に、子どもの笑顔と夫の頑張り、そして東北人の絆に支えられて、いつまでも家族一緒に
	18-23	浪江のころ通信 第24号	浪江町が3つの区域編成されたことが残念 —孫たちが帰ることのできる実家を早く再建したい—、子どもたちの成長していく姿が楽しみです、前へ進んでいきたい、今の自分を育ててくれた周りのみんなに感謝し、自分も伝える側として成長していきたい、なんでこんな目に遭うのかと、何度も何度も思いましたよ
7月	12-13	復興公営住宅の整備状況(福島県からの情報)	
	24-31	浪江のころ通信 第25号	宮城県仙南地域で交流会を開きたい！ —2年経ち、益々感じる浪江の皆さんのありがたさ—、今は無理でも、娘や息子が大人になったら夫婦2人で生まれ育った浪江に帰りたい、とうろく流しに「浪江に早く帰れるように」と願いを込め、教えを実践しながら、毎日を過ごす、みんなで支え合える場をつくりたい、「来る者拒まず」の心意気で、自治会の仕事をしています、毎日を過ごすことに精一杯だった2年間 —浪江を思いつつも、この土地の人間になろうとしてきたことに気づく—
8月	19-23	浪江の心つうしん 第25号	今は、とても落ち着いています、今の夢は、地元浪江で働くこと、京都そして茨城県での新しいスタートへ、失ったものよりも得たものの方が多いと信じたい—幼いころからの夢に向かってこれからも頑張っていく—
9月	2-3	復興に向けて 浪江町復興計画策定委員会による新たな検討体制がスタートしました	
	19-23	浪江のころ通信 第26号	「苦労は考えない」(株)叶屋浪江SS町内での事業再開第1号、「なみえ」を子どもたちに残していきたい、再び海の仕事をできるだろうか。不安と期待が交錯します、山形からふるさとの浪江の復興を思い続けています

10月	2	町民の皆さんへ	浪江町長 馬場有
	11	復興に向けて 浪江町復興計画策定委員会「まちづくり計画検討部会」における検討状況をお知らせします	
	22-27	浪江のころ通信 第28号	明るく前を向いて、長生きしよう、皆さんから元気をもらいながら、忘れずにあきらめずに伝えて生きよう、今、私に課せられた使命～心のキャッチボールから見えてきたもの～、いつか、再び家族全員で暮らしたい
11月	2	町民の皆さんへ	浪江町長 馬場有
	3-5	住民意向調査集計結果 速報版	
	22-27	浪江のころ通信 第29号	“自分を耕して、自分に種をまく”をモットーに～ビーズアートジャパン大賞2013佳作受賞～、田畑を耕したい～恵み多き浪江に戻れるように～、生まれ育った関西よりも、浪江町は、大切なふるさとです、帰れるようになったけれども、未だ住めないふるさとを思う、天から与えられたこの命、天寿を全うしたいですね
12月	2	町民の皆さんへ	浪江町長 馬場有
	23-27	浪江のころ通信 第30号	甲子園の先導役を務めた思い出を胸に、夢に向かって、ふるさとを次の世代に繋ぎたい、浪江で“一人のできる花屋”を再開するのが夢、「浪江のころプロジェクト」取材協力者情報交換会を開催しました

## ● 葛尾村

掲載号	ページ	記事名	特集項目名
1月	2	「新生葛尾村」の誕生に向けて	葛尾村長 松本允秀
	3	持続可能な議会運営を目指して	葛尾村議会議長 杉本宣信
2月	2-3	先行除染事業 みどり荘と中学校の除染が完了しました	帰還支援復興公営住宅の建設
3月	2-3	根本復興大臣に要望書を提出	
4月	4-7	平成25年3月22日午前零時 避難指示区域の見直し	インフラ復旧の工程表
5月	2-9	第四回住民懇談会	村長あいさつ、村の復興計画について、区域見直しと解除見込み時期について、葛尾村への立ち入りのしおり、除染について、賠償基準について、財物賠償(償却資産と棚卸資産)について、Q&A
	10-11	葛尾村役場三春出張所新仮設庁舎完成!	庁舎案内図
6月	2-3	葛尾村内本格除染開始	主な除染方法
	4-5	自由民主党福島県議会議員団に要望書を提出しました	
7月	2-3	井戸掘削の事前調査が行われています	
8月	2-3	平成25年度第1回住民懇談会	葛尾村住民懇談会の質問項目(中間報告)
9月	2-3	葛尾村復興公営住宅	
10月	2-3	復興の励みへ 松本允秀葛尾村長国際表彰受賞	グリーンクロスインターナショナルとは?、グリーンスター賞とは?、受賞への経緯、授賞式でのスピーチ
11月	2-3	浮島環境大臣政務官、小泉復興大臣政務官へ要望書を提出	「早期の復興に向けた各種支援について」の要望内容

12月	2-3	一時帰宅支援バスの試験運行が始まっています！！	
-----	-----	-------------------------	--

### ● 新地町

掲載号	ページ	記事名	特集項目名
1月	2-3	2013年 新年のごあいさつ	新地町長 加藤憲郎、 新地町議会議員 目黒静雄
	4-5	仕事の復興に向けて 農地・漁港の復興	
	6-7	社会経済基盤の復興に向けて 道路・河川の復興①	
	8-9	社会経済基盤の復興に向けて 道路・河川の復興②	
2月	2-5	住まい再建事業の柱 新たな住宅団地の造成始まる	7カ所の新たな住宅団地造成が一斉に始まり、みんなで進めた新たな住宅団地計画、海・里・山と調和したコンパクトな町づくり
3月	2-7	住まいの復興に大きな一歩	愛宕東災害公営住宅の建設が始まりました、愛宕東地区災害公営住宅のコンセプト 地域をつなぐ桜坂、被災高齢者共同住宅
4月	4	国立環境研究所と復興と環境都市で連携・協力	
5月	6	駒ヶ嶺原災害公営住宅(仮称)の造成、建築が始まりました	
6月	2-3	忘れてはいけない思いを 紙芝居にのせて 世界でたった一つの物語。	
	4-5	伝えたい思いを 詩に込めて 世界でたった一つの言葉。	
	6	横浜市の土を復興事業の資材に利用	
	7	復興の弾みに 農作業の効率化でさらなる農業振興を	
8月	2-5	住まいの再建を願い	愛宕東、原災害公営住宅と、被災高齢者共同住宅の建設が進んでいます、高まるコミュニティ再建意欲、集落コミュニティベースに分散配置
9月	2	防災集団移転 富倉団地 宅地を引き渡し	
10月	9-12	新地町空間放射線量率メッシュ調査の結果	
12月	2-11	農業・漁業の正常化へ 農マライゼーション	農業をとりまく課題と解決へ向けた新たな挑戦、安心して安全な特産品の発信、新しい農林水産業のカたち6次産業化

### ● 飯館村

掲載号	ページ	記事名	特集項目名
1月	2-3	年頭のごあいさつ	飯館村長 菅野典雄、 飯館村議会議員 佐藤長平
	4-7	新春特集 元気を発信！「までいにかんばっています」	純米大吟醸「飯館」復活、営業再開お客さんとの絆をつなぐ、飯館牛のブランドを守る
2月	2-5	村外・村内拠点についての意向調査結果速報	およそ2割が「村外子育て拠点(仮称)」に入居希望
3月	3	復興計画第3版(案)の答申を受ける	村外子育て拠点、平成26年3月完成を目指す、答申で提案している主な計画



4月	6-7	いいたてまでいな復興計画第3版(案)まとまる	今後、復興計画に基づき土地利用を見直します、復興を支える4つの重点施策
	18	除染 美しい飯舘村を取り戻すために	クリアセンターの空間線量率をお知らせします
5月	2-5	農業に生きる までいブランドの再生を目指して	周りのみなさんとの関わりを大事にしています、一日でも早く地元で活躍したいです、未知の世界の不安もあるが楽しみもあります、農業は楽しくやりたいです、植物に関わる仕事をし続けたいです、土いじりを楽しく続けていきたいです
6月	10-11	除染 美しい飯舘村を取り戻すために	村内の除染の状況をお伝えします、村が除染を行う須萱地区除染のようす
7月	11	除染 美しい飯舘村を取り戻すために	除染した水田で田植え 帰村後の営農再開に向けて
8月	4-5	復興計画の実現に向けて	村外子育て拠点の整備が始まります、大火山に太陽光発電所を建設します
	13	除染 美しい飯舘村を取り戻すために	村内の除染の状況をお伝えします
9月	7	除染 美しい飯舘村を取り戻すために	大久保・外内行政区でも除染作業始まる
10月	19	除染 美しい飯舘村を取り戻すために	国による除染工程の見直しが行われる
11月	4-10	村民一人ひとりの復興をめざして	飯舘住民アンケート集計結果から考える、多世代家族が考える それぞれの復興、復興の足掛かりをつくる、いつか迎える避難指示解除とその先を見ずえて
	11	復興 美しい飯舘村を取り戻すために	将来への期待込めて・稲刈り
12月	8-9	復興 美しい飯舘村を取り戻すために	除染後の農地で栽培したコメ すべて「基準値以下」、同意進む除染・居久根伐採

## ● いわき市

掲載号	ページ	記事名	特集項目名
1月	2	年頭のことば「ふるさといわき」の再生に向けて～日本の復興を「いわき」から～	いわき市長 渡辺敬夫
	3-5	～日本の復興を「いわき」から～	復興元年 第4回いわきサンシャインマラソン
3月	6-7	災害時の応援協定を締結	
5月	2-3	原子力災害に備えた防災計画・避難計画を策定	計画策定の経過、地域防災計画(原子力災害対策編)、原子力災害避難計画【暫定版】、今後の取り組み
	4-5	本格除染を実施しています	除染実施のしくみ、新しい除染実施計画、新除染実施計画の特徴、除染の課題と今後の予定
	6	久之浜町末続・金ヶ沢地区移転先の造成工事始まる	防災集団移転促進事業とは、二地区の事業概要
	7	いわきの復興に向けた教育メッセージ	これまでの主な取り組み、今後の展望
6月	2-5	放射線に対する取り組みと今後について	内部被ばく検査等放射線健康管理対策、農作物に関する放射性物質検査など
	12-13	今年度末の復旧完了を目指して	契約事業ベースの進捗率は約八十四%、一部遅延の事業も発注はおおむね実施

7月	2-3	「ふくしま復興祭」を開催	
	4	災害公営住宅の入居意向調査結果まとまる	入居希望者が前回の結果よりも増加、入居戸数は今後も変動
	5	防災集団移転の移転先団地の引き渡し手続きを開始	市内初となる移転先団地の引き渡し、津波被災地の早期復興に向けて
8月	2-3	8月31日(土)市総合防災訓練を実施	地域住民の皆さんが主体となる実践的訓練、市内震度「六強」、「大津波警報」を想定、各訓練のポイント
	6-7	小名浜と三和でまちづくり懇談会を開催	夢をもち 夢にむかって 復興する小名浜地区をめざして、自然が輝き 人が輝き まちも輝く 三和の里づくり
9月	2-3	21世紀の森公園内に災害時拠点施設を整備	21世紀の森公園は本市の防災活動の拠点、救援物資の集積・分配機能を担う新たな施設、平常時は多目的屋内運動場として活用
	4	津波で被災した住宅の再建を支援	
	5	ふくしま産業復興投資促進特区(農林水産業分野)の活用を	
	6	子どもたちの運動機会を確保するために	子どもの元気復活交付金を活用、いわき市では九事業を計画
10月	2-5	災害公営住宅入居者の募集を開始	
	6	市防災メール配信サービスの運用を開始	
11月	4-5	震災からの生活再建・住宅再建を支援	

(地域資料チーム 神谷 祥平)